

## <報道発表資料>

.....

令和4年3月15日

### 「令和3年度埼玉青少年の意識と行動調査」の結果をお知らせします

埼玉県が実施した「埼玉青少年の意識と行動調査」の結果がまとまりました。

この調査は、青少年の状況を把握し、今後の青少年施策に生かすことを目的として5年に1度実施しているものです。

今回の調査では、子供・若者の自己肯定感や生きづらさを把握するという観点から、質問全体の見直しを行うとともに、調査対象を拡大して実施しました（「満31歳から満39歳」を追加、保護者等を全年齢に拡大）。

調査結果の詳細は、県ホームページを御覧ください。

アドレス：<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0307/seisyounentoukei/index.html>

#### ●調査結果のポイント

##### 1 「父親について感じていること」「母親について感じていること」

（概要版2～3ページ参照）

「父親」や「母親」に対して感じていることについて、いずれの年齢でも「困ったときは助けてくれる」及び「尊敬している」が高く、かつ年齢間の差が小さくなっている。

「父親」と「母親」に対して感じていることを比較すると、全体的に「母親」に対しての感じ方が高くなっており、特に「私のことを理解している」、「困ったときは助けてくれる」「何でも話せる」については顕著である。

##### 2 「学校に行きたくない」と思った頻度（概要版8ページ参照）

「学校に行きたくない」と思った頻度について、いずれの年齢も第1位が「ほとんどなかった」となっている。しかし、「毎日」、「1日おき」及び「週に1回くらい」を合わせた『週1回以上』では、【満10歳から満14歳】では21.2%、【満15歳から満30歳】では33.7%、【満31歳から満39歳】では33.4%となっている。

一方、保護者等においては、自分の子が学校に行きたくないと言った頻度について、「ほとんどなかった」が41.8%で最も高く、次いで「一度もなかった」が35.4%となっている。『週1回以上』では、子供の回答と10～20%の差がある。

##### 3 「あなた自身のこと」（自己肯定感との関連項目）（概要版10～12ページ参照）

自己肯定感に特に関連があると思われる項目について、各年齢の回答を比較すると以下のようなになる。年齢が上がるとともに低下している。

#### 各項目について「そう思う」と回答した割合

項目	10～14 歳	15～30 歳	31～39 歳
今の自分が好きである	29.8%	20.0%	16.6%
自分にはよいところがあると思う	40.1%	34.4%	25.2%
困ったことや苦しいことがあっても、 自分は何とかすることができると思う	32.3%	27.9%	25.9%
苦しい時は誰かに相談したり、助けを 求めることができる	44.2%	42.3%	33.0%

- 4 「あなた自身のこと」（生きづらさとの関連項目）（概要版 13～15 ページ参照）  
 生きづらさに特に関連があると思われる項目について、各年齢間を比較すると以下のようになる。年齢が上がるとともに高くなっていく傾向がある。

#### 各項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合

項目	10～14 歳	15～30 歳	31～39 歳
今、どこにも居場所がないと感じる	3.1%	6.3%	10.6%
自分の精神状態※は健康ではないと思う ※10～14 歳では「こころ」	13.3%	22.5%	24.3%
生きるのが苦しいと感じることがある	18.7%	36.0%	35.1%

- 5 「現在困っていることや悩んでいること」（概要版 16 ページ参照）  
 現在困っていることや悩んでいることについて、【満 10 歳から満 14 歳】では「勉強や進学のこと」が 47.1% で最も高くなっている。「将来のこと」はいずれの年齢においても高くなっている。  
 また、「はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安」がいずれの年齢においても 10% 程度となっている。

#### 「現在困っていることや悩んでいること」として以下の項目を選択した割合

項目	10～14 歳	15～30 歳	31～39 歳
勉強や進学のこと	47.1%	24.6%	2.1%
将来のこと	33.1%	48.3%	43.9%
はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安	13.4%	14.2%	11.4%

## ●調査の概要

### 1 調査目的

本県における青少年の生活実態や価値観等を把握し、青少年に関する総合的施策樹立のための基礎資料を得るとともに、調査結果を広く県民に紹介し、青少年健全育成に対する理解と協力を得るために実施する。

### 2 調査設計

#### (1) 調査地域

埼玉県全域

#### (2) 調査対象

- ①令和3年4月1日現在で、満10歳から満14歳までの県内在住の男女 2,000人
- ②令和3年4月1日現在で、満15歳から満30歳までの県内在住の男女 2,000人
- ③令和3年4月1日現在で、満31歳から満39歳までの県内在住の男女 2,000人
- ④調査対象①から③の保護者等 6,000人

#### (3) 調査方法

郵送配布、郵送回収・インターネット回収

#### (4) 調査期間

令和3年7月30日（金）～8月25日（水）

#### (5) 有効回収率

- ①満10歳から満14歳までの青少年 789件 (39.5%)
- ②満15歳から満30歳までの青少年 480件 (24.0%)
- ③満31歳から満39歳までの青少年 560件 (28.0%)
- ④①～③の保護者等 1,504件 (25.1%)